

2016年1月14日

ニュース：3年振りに「インターアクトの翼」再開

3年間中断されていた「インターアクトの翼」が1月7日から10日迄の4日間中華民国（台湾）羅東市に飛び立ち、12のインターアクトクラブから24名の会員、7名の指導教諭、11名のロータリアン（夫人1名を含む）合計42名が参加しました。国際ロータリー3490地区の邱添木（Chiu Tien-Mu）ガバナー、許國文（Hsu Kou-Wen）パストガバナー始めロータリアンの方々、及び国立羅東高級中学の謝寶珠（Hsieh Pao-Chu）校長以下多くの先生方のお世話のもとインターアクトの高校生は羅東高校の生徒と1夜のホームステイを含む1日半の密接な交流を楽しみました。学校では歓迎式典の後、互いに歌や音楽演奏で交流し、校舎の見学、授業の体験、協同のランチタイムなど有意義な体験をしました。ホームステイの夜は夫々夜市に案内される等楽しく過ごしたようです。先生方とロータリアンも夫々に親密な関係を築く事が出来、再開を約して別れました。3日目は台北市に移り市内の見物、故宮博物館見学等で異国の街を散策した後無事帰国しました。

詳細は田中委員長の報告を2月号月信でご覧下さい。